こころとこころをつなぐ暮らしの情報誌

ko-ko-ti

2020年 早春号 vol.56

発行／感響の家
内保製材株式会社
〒526-0244 滋賀県長浜市内保町7
2020年3月1日発行

Photo：I.Kitagawa
余呉川河川敷（長浜市木之本町黒田）

古今想継

社長のコラム

揺るぎない信念を継承すること

令和初の湖北の冬は、見渡す限りの雪景色に囲まれることがほとんどなく、例年にない暖冬となりました。

空の色、空気の匂いや木々草花の芽生え、鳥たちのさえずりといった自然界の変化から新しい季節の到来を五感で感じられる春も、すぐそこまで来ています。

さて、昨年から今年にかけて日本のみならず、世界のあちこちで異常気象に見舞われているというニュースが飛び交っております。オーストラリアの山火事や洪水、また、ロシアやヨーロッパの大寒波といった自然の猛威が私たち人間だけでなく共に生きる動植物にまで多大な影響を与え続けています。また、インターネットの普及でこれらの情報を瞬時に得られる時代になり、より身近に様々な問題に対して考え行動するきっかけが生まれ本当に世界が小さく感じられる時代となりました。

近年、このような時代背景の中で未来に責任をもった活動を推進しようとする世界標準の指標が掲げられ注目されてきております。新聞などでも頻繁に取り上げられ見聞きされた事もあるかと思いますが「SDGs」といわれるもので、これは「持続可能な開発目標」と訳されています。これからの時代の共通目標として二〇三〇年を節目として表明されたものですが、近江商人が掲げた三方良しに通じるものがあります。

「SDGs」の中身として17のゴール目標がありますが、そのいくつかは弊社が創業以来、こだわり続けて実践してきております。例えば、11住み続けられるまちづくりを・12つくる責任つかう責任・15陸の豊かさも守ろう等です。流行りではなく使命感をもって時代を超えて住み継げる家づくりを重ねてきましたがこれからも企業理念に則り地域の皆さまに継続的に支持され必要とされる企業として邁進していこうと思います。時代が変わっても変わらないもの変えたくないものを大切にして次代に繋げていくことで私たちの未来への約束を果たせるものと信じています。

内保製材株式会社
代表　川瀬 之洋

『子どもの記憶に残る木の家の暮らし』

◆長浜市U様邸（2014年3月竣工）　◆ご家族 / ご夫婦＋お子様2人

アパートにお住まいで新築を検討されていた頃、当社のホームオーナー様のお住まいに遊びに行かれたU様。見学会にも何度も足を運んでいただく中で、「同じ木の家でも、ずっと住むなら内保製材さんの木の家がいいな」と、当社での家づくりを決めて頂いたそうです。お住まいになられて6年。現在の暮らしをお聞きしました。

木の香りに癒される

友人の家に遊びに行って玄関に入った時、「わ～！いい家やな！木の香りがすごい！」というのが内保製材さんの家の最初の印象でした。友人の子どもさんからも木のいい香りがしたのを覚えています。家を建ててからは、時々実家の母が家に遊びに来てくれて、「家に帰ってもまだ服から木の香りがする！」と驚いていました。疲れた時は、「ここでゆっくりさせて」と言います。とても落ち着くみたいです。旅行から帰った時も、木の香りが感じられてほっとしましたね。家に帰ってゆっくりしようと思う事が増えました。

木の家が大好きな子ども達

子ども達は走り回ったり、色んなおもちゃなどを出してきたりと自分たちで工夫して自由にのびのびと遊んでいます。いい意味でやんちゃになったかな（笑）次男は保育園で描いてきた絵や工作を飾ったりしてお家も賑やかです。真っ白な漆喰壁に絵がたくさん並んでいるのを見ると嬉しくなります。

このお家が大好きな長男は、土日も家でゆっくりするのが楽しいみたい。「この家にずっと住みたいな～」と言ってくれます。

手間をかけることの楽しさを伝えたい

昔遊んだ花火。子ども心に「火」を不思議に感じていて。その延長なのか、薪ストーブの火を管理したり、ゆらゆらしている炎を眺めたりするのが楽しいです。私が小学生の頃はよく父親と一緒に畑に行き、芋ほりなどを手伝っていました。スコップの使い方などを教わったりして。しんどかったけれど、楽しかった。機能的で便利な物が溢れる現代で、そんな経験も大切にしたいなと思っています。

簡単にスイッチをいれるのではなくひと手間をかけて火をおこす薪ストーブもそのひとつ。

薪を割って運んだりすることを子ども達にも体験させたくて。今は薪運びを手伝ってくれていますが、子どもがもう少し大きくなったら、もう少ししんどいことを一緒にしようかなと（笑）そのほうが、「こんなしんどいことをしたけど楽しかったな～」と記憶に残りやすいかな。いつか「小さい頃お父さんと一緒にこんなことをしたな～」と思い出になれば嬉しいですね。

取材後記

「薪運びや薪割りなど、一緒に体験したことが子ども達の楽しい思い出になれば嬉しいな」と語るお父さんの笑顔にはご家族への愛情が溢れ、とてもあたたかい気持ちになりました。

（広報企画・北川）

暮らしの知っ得

「ムダ」がない有効活用

こんにちは、総務の安井です。
内保製材では木の家づくりを通じて「木育」を大切にしています。一本の木には、どこも無駄がない（捨てる部位がない）のはご存じでしょうか。当社の「暮らしギャラリーふくらの杜」の土間に樹木のサンプルが置いてあります。木材の断面を見て頂くと、皮まで活用できることがよくわかります。

木材の活用

コア材は紙用のバージンチップに。かんな屑は競走馬の寝床やじゅうたん代わりに。皮は肥料にと、余すことなく活用しています。

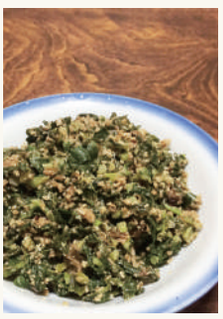
私達がいただく野菜にも同じような事が言えます。例えば、大根や人参、牛蒡などの皮や葉っぱ、ブロッコリーの茎、ナスのヘタ、ピーマンのワタ（種）など、数え切れない程です。若い頃は野菜の皮や葉、茎などの栄養満点の部位を捨てていましたが、今は畑で穫れた自作の野菜を無駄なく料理しています。

～無駄なしレシピのご紹介～

キャベツの芯の絶品おかず
ポン酢とラー油に一晩寝かすだけ

ブロッコリーの芯の和風ポタージュ
ブロッコリーの芯を細かく刻み、昆布のだし汁で煮込む。牛乳、黒コショウなどで味付けします。

大根葉のふりかけ
細かく切った大根葉をフライパンで炒め水分がとんだら、めんつゆ、鰹節、ゴマを加え入れて炒め、最後にごま油で香りをつけます。



大根葉のふりかけ

昆布と椎茸の芯の佃煮
椎茸の芯を細く切り、だしをとったあとの昆布（一口サイズに切る）と一緒に、めんつゆで煮ます。

昆布と椎茸の佃煮

また、畑でなくても庭先やキッチンの空間も上手く利用・工夫して、新鮮で栄養満点な野菜を作って、家族皆で美味しくいただきたいですね。

昨今、温暖化傾向により、野菜の生育が早い、固いなど、うまく育たないこともありますが、近所の方に習ったり工夫をしながら野菜を育てています。特に農家の方々の苦労は並大抵ではありませんので、どんな野菜も感謝を忘れず、食べられるものは捨てずにいただきたいです。

総務　安井正子

木に魂を組み込む『カラクリ玩具』

木工機械や道具、たくさんの木材に埋め尽くされた八畳ほどの工房。この小さな空間で「カラクリ玩具」を制作されている蓮溪円誠さん（長浜市湖北町在住）。定年まで数年を残して美術教師を退職され、趣味を仕事にする「職人」に。

幼い頃から工作少年だったといい、小学生の頃は夏休みになると宿題そっちのけで、指が痛くて泣きながらも工作に明け暮れていたそう。工作少年の延長線上に今の蓮溪さんがあるという。

「玩具」と言えば「子どもが遊ぶもの」と思いがちだが、「本当におもしろい玩具は大人でも楽しめるもの」とカラクリ玩具への想いを語る蓮溪さん。動物や人形たちに「カラクリ」という魂を組み込むことで生まれる、何とも言えない愛おしい動きは見る人を惹きつけ、木のあたたかみも相まって一度触れると虜に。ご本人は至って謙虚だが、ハンズ大賞グランプリをはじめ、これまでに数々の受賞歴を持つ。今後は、家の建て替えの際に出た古材や地域の木を活かし、「生き物や樹木への礼賛とともにカラクリ玩具を作っていきたい」と蓮溪さんは話す。

3月14日、15日暮らしギャラリーふくらの杜で開催される『カラクリ玩具展』。「子どもから大人まで多くの方に、見て触って動かして、その奥深さを感じてほしい」と蓮溪さん。ものづくりの素晴らしさを感じていただける二日間です。

（取材：広報企画　髙山）

写真：蓮溪 円誠氏
（写真提供：植田 淳平氏）

湖北のほっとスポット

長浜ドーム

長浜市田村町

絵　松井 善和さん

守山出身の私が少年野球の大会で何度か訪れた「長浜ドーム」。
当時、ドームで試合ができることは珍しく、『これからここで試合ができるんだぁ～♪』とわくわく・ドキドキしたことを思い出させてくれます。

工務　鵜瀬　雄大

＼家づくり進行中／

【新築・リフォーム・その他工事】 建築中のお住まいをご見学ご希望の方は、事前にご連絡ください。

- 長浜市相撲町　Y様
- 長浜市本庄町 T様
- 長浜市錦織町　N様
- 長浜市八幡中山町　M様
- 長浜市西浅井町大浦　T様
- 長浜市野瀬町　N様
- 長浜市川崎町　O様
- 長浜市口分田町　H様
- 米原市野一色　K様
- 米原市上野　N様
- 米原市顔戸　N様
- 米原市春照　F様
- 米原市柏原　T様
- 米原市長岡　S様
- 米原市夫馬　H様
- 彦根市西今町　O様
- 彦根市戸賀町　N様
- 東近江市　F様
- 近江八幡市　N様
- 高島市マキノ町　M様

編集後記

「もったいない」という日本語。アフリカ人女性として初のノーベル賞を受賞したケニアの環境活動家ワンガリ・マータイさんは2005年の来日の際にその単語に感銘を受けて、「MOTTAINAI」という言葉を世界に提唱され、注目を集めました。食べ物を無駄なく頂く、物を長く使うなど、感謝の気持ちをもって物を大切にしたいと思います。
（広報企画　北川）

イベントのご案内 2020 3月・4月

《お申込み・お問い合わせ》
TEL 0749−74−0161

かんきょうのいえ 検索
イベント情報はこちら→

家づくり 申込制

住まいの学校「楽学講座」

【暮らし＆設計編】

設計のポイントや心地よい家づくりに必要な事をわかりやすく学べます。

①『四季を通じて快適に暮らせる家とは』
②『心地よい暮らしの設計』

日 3/7（土）
時 13：30 ～ 16：00
所 暮らしギャラリーふくらの杜（長浜市内保町 7）
¥ 無料
申 電話またはＨＰにて（締切 3 月 5 日木曜日）

家づくり 申込制

住まいの学校「楽学講座」

【お楽しみ校外学習編】

お住まい宅・施工中現場・自社製材工場・木材市場などをワゴンでご案内します。「家づくり」をじっくりと知っていただける勉強会です。

日 4/4（土）
時 10：00 ～ 15：30
所 暮らしギャラリーふくらの杜に 9：55 までに集合（長浜市内保町 7）
¥ 無料・お弁当付き
申 電話またはＨＰにて（締切 3 月 31 日火曜日）

家づくり 申込制

新築完成見学会【予約制】

『伝統の匠の技が活きる手刻みの家』

大工が墨付けをし、カンナで木を削りノミで刻む手刻みの家。木の癖を見極め、木の良さを最大限に引き出す大工の技術を集結した家です。

日 4/25（土）・26（日）
時 ①10:00 ～ ②11:00 ～ ③13:00 ～ ④14:00 ～ ⑤15:00 ～ ⑥16:00 ～ 先着順でご希望時間を承ります。
所 長浜市錦織町（ご予約いただいた方に会場の地図を送らせて頂きます）
申 電話またはＨＰにて（締切：前日まで）

家づくり 申込制

住まいの「個別無料相談会」

日 3/7（土）・4/5（日）
時 10：00 ～ 12：00
所 暮らしギャラリーふくらの杜（長浜市内保町７）
¥ 無料
申 前日までに電話またはＨＰにて
締 2 組様（定員になり次第）

地 域 自由参加

託児付きマルシェ ～ mommy's smile ～

ピザ・クレープ・苺販売・コストコ・沖縄料理
エステ・マッサージ・気功整体・カード
アクセサリー販売・オシャレフリマ・手形アート
親子フォト・ＥＴＣ　総勢 15 店舗
◎14 時～簡単おやつ講座（自由参加）
◎保育士付きの無料託児あり

日 3/10（火）
時 10：30 ～ 15：00
所 暮らしギャラリーふくらの杜（長浜市内保町 7）
¥ 入場料￥500 ※予約不要（フリードリンク付き）

問 Instagram LINE@

メール kch01290204@gmail.com 代表：西澤さん

地 域 自由参加

蓮溪円誠氏のカラクリ玩具展

木で作ったカラクリ玩具の展示会。動物や人形たちがからくりの仕組みによってさまざまな動きを見せます。

日 3/14（土）・15（日）
時 10：00 ～ 17：00
所 暮らしギャラリーふくらの杜（長浜市内保町 7）
¥ 入場無料　※蓮溪さんは両日在廊されます

もちつきうさぎの製作ワークショップ

日 3/15（日）
①11:00 ～ ②14:00 ～（※所要時間約２時間）
¥ 2,000 円
締 各回 15 名様
申 電話またはＨＰにて（※小さなお子様は保護者同伴で）

詳細はＨＰにて

こちらから動画をご覧いただけます←

暮らし 申込制

簡単！２種の桜もちをつくろう

春を感じる桜もち。「関西風」「関東風」があるのをご存知ですか？簡単レシピで楽しく２種類の桜もちを作りましょう♪お子様も楽しくご参加いただけます！

日 4/5（日）
時 13：30 ～ 15：30
所 暮らしギャラリーふくらの杜（長浜市内保町７）
¥ １組 500 円
締 8 組様（定員になり次第）
申 電話またはＨＰにて
持 エプロン、マスク

kan-kyo 感響の家 感響匠の会 内保製材株式会社
滋賀県長浜市内保町7 TEL 0749-74-0161
https://www.uchiboseizai.com e-mail info@uchiboseizai.com